

## 時代を見据えた法改正へ 大田本部長体制3期目がスタート

（公社）日本技術士会中国本部（中区）は十五日、平成二十九年年度年次大会を開催し、大田一夫本部長の三期目統投を決定した。

大田本部長  
長 写真中

大田本部長は「初の女性役員が誕生するなど、多方面の意見が反映できる体制。引き続き、資質と地位の向上に取り組みたい」と話した。また同会本部（東京都）が文部科学省に提言した、技術士制度改革については「近い将来、更新制度が導入される事になる」と言及した。大会では、二十九年度の役員紹介や二十八年度

事業報告並びに収支決算、二十九年度事業計画並びに収支予算等の報告があり、十月に山口市で開催する「第44回技術士全国大会」の案内もあった。なお同本部が昨年実施したCPD（技術者の継続教育制度）行事は九十三回で、他の地域本部を大きく上回った。

先月十三日に設立された、与党技術士議員連盟



（山）東昭子会長 自民党参議院

議員）からも、斉藤鉄夫会長代行（公明党衆議院議員）が参加。「平成十二年以来、技術士法の改正は無い。新たな時代を見据えた法改正に向け、しっかりと働きたい」と話した。